

大審院藏版

大審院刑事判例集

法曹會發行

○國外移送誘拐被告事件 (昭和十一年(九)第三〇二二號 棄却)

【被告人】 被告人 藤田 隆 辯護人

赤井 孝夫 中山 伊佐男 中山 龍彦 佐藤 隆 山崎 佐 外一名

【第一審】 長崎地方裁判所 【第二審】 長崎控訴院

○判示事項

誘拐罪ノ謀議ト共同正犯——上海ヘノ移送ト國外誘拐罪又ハ國外移

○判例要旨

一 國外移送ノ目的ヲ以テ人ヲ誘拐シ其ノ被誘拐者ヲ國外ニ移送スルコトヲ謀議シタル者ハ其ノ實行行為ヲ分擔セザリシトキト雖 國外誘拐並 國外移送罪ノ共同正犯タル刑責ヲ負フヘキモノトス

【要旨第一】

二 上海ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ誘拐シ之ヲ同地ニ移送シタルトキハ直ニ國外誘拐罪並 國外移送罪ノ成立ヲ來スヘク同地ニ帝國軍隊ノ駐屯スルト否ト帝國裁判權ノ行ハルルト否トハ犯罪ノ成立ニ關係ナキモノトス【要旨第二】

三 國外移送ノ目的ヲ以テ人ヲ誘拐シタル者ハ其ノ被誘拐者ヲ國外ニ移送シタルトキハ其ノ誘拐ノ點ニ付刑法第二百二十六條第一項移送ノ點ニ付同條第二項ヲ各適用シ其ノ間ニ手段結果ノ關係アルモノトシテ同法第五十四條第一項後段ニ照シ處斷スヘキモノトス【要旨第三】

【參照】 刑法第二百二十六條 帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ誘拐スル者ハ其ノ被誘拐者ヲ國外ニ移送シタルトキハ其ノ誘拐ノ點ニ付刑法第二百二十六條第一項移送ノ點ニ付同條第二項ヲ各適用シ其ノ間ニ手段結果ノ關係アルモノトシテ同法第五十四條第一項後段ニ照シ處斷スヘキモノトス【要旨第三】

若一二年以上ノ有期懲役ニ處ス
 希釋外ニ移送ニシテ目的ヲ以テ人ヲ賣買シ又ハ被擄取者若クハ被賣者ヲ帝國外ニ移
 送シテ賣買者ト爲ス
 同法第六十條 二人以上共同シテ犯罪ヲ實行シタル者ハ首犯トス
 同法第五十四條一項 一箇ノ行爲ニシテ數罪ノ罪名ニ觸レ又ハ犯罪ノ手段者クハ第
 一項移送ノ點ニ對シテハ同條第二項ヲ各適用シ尙右兩行爲ノ間ニ手段結果ノ關係アルモノト認メ同法
 第五十四條第一項後段ニ照シテ處斷シタリ

● 事實

第二審ハ被告人等カ婦女ヲ誘拐シテ上海ニ移送シ醜業ニ從事セシメンコトヲ謀議シタル上被告人富雄
 以外ノ被告人等カ其ノ謀議ニ基キ長崎地方ニ於テ十數名ノ婦女ヲ誘拐シテ上海ニ移送シタル事實ヲ
 認定シ被告人等ヲ執レモ共同正犯ナリト判定シ其ノ行爲中誘拐ノ點ニ對シテハ刑法第二百二十六條第
 一項移送ノ點ニ對シテハ同條第二項ヲ各適用シ尙右兩行爲ノ間ニ手段結果ノ關係アルモノト認メ同法
 第五十四條第一項後段ニ照シテ處斷シタリ

● 主 文

本件上告ハ孰レモ之ヲ棄却ス

○ 理 由

據ハ昭和五年十一月頃ヨリ中華民國上海ニ於テ其ノ雇入ニ係ル婦女ヲシテ同地駐屯ノ帝國軍人ヲ顧客
 トシ醜業ニ從事セシメ居タル處昭和七年一月所謂上海事變ノ勃發ニ因リ多數帝國海軍軍人ノ駐屯ヲ見
 ルニ至リケルヲ以テ海軍指定慰安所ナル名稱ノ下ニ從來ノ營業ヲ擴張センコトヲ欲シ豫テ知合ノ亡棍
 原伊吉ニ其ノ意圖ヲ告ケ同人ノ紹介ニ依リ同年三月七、八日頃上海文路江星旅館ニ於テ被告人藤田隆
 岡崎安太郎ノ兩名ニ面談シ右ノ企圖ヲ諮リ之カ贊同ヲ得茲ニ被告人富雄ニ於テ家室其ノ他ノ設備ヲ提
 供シ伊吉及被告人稔ノ兩名ニ於テ該營業所ニ於テ醜業ニ從事スヘキ日本婦女ヲ日本内地ニ於テ雇入レ
 移送スルコトヲ適當シ被告人安太郎ニ於テ之カ雇入資金ヲ提供スルコトヲ約スルト共ニ婦女雇入レニ
 際シテハ其ノ専ラ醜業ニ從事スルモノナルコトノ情ヲ秘シ單ニ女給又ハ女中トシテ雇フモノノ如ク欺
 罔シ勸誘誘惑シテ上海ニ移送セムコトヲ謀議シ伊吉ニ於テ直チニ之ニ贊同スルト共ニ安太郎等ノ旨ヲ
 受ケテ其ノ頃長崎市ニ於ケル被告人安太郎ノ妻ナル被告人岡崎雪野ニ右ノ協議内容ヲ通知シテ婦女ノ
 雇入方ヲ求メ被告人雪野ハ其ノ旨ヲ被告人稔ノ妻ナル被告人藤田ミキ及被告人中田丈太郎ノ兩名ニ通
 スルト共ニ被告人ミキトノ間ニハ之カ實行ヲ兩名ニ於テ分擔スヘキ旨ノ協議ヲ遂ケ次テ被告人丈太郎
 トノ間ニハ安太郎等ノ協議セテ前記方法ニ基キ婦女ヲ雇入ルヘキコトヲ謀議シ居ケルカ更ニ同月十四
 日被告人安太郎ニ於テ長崎市ニ歸來スルヤ直チニ同市内ナル同人方ニ西田五三郎及被告人ミキヲ招致
 シ同人等就被告人雪野ニ對シ前記上海ニ於ケル協議ノ結果ヲ告ケテ婦女移送方ヲ促シ同人等モ之ニ贊
 同ノ上被告人雪野ニ於テハ同年三月下旬頃被告人原田春吉原審相被告人上田虎壽ヲ介シテ原審相被告
 人川田市之助ノ三名ニ五三郎及被告人ミキニ於テハ同月十四日頃被告人松島章二ニ夫々安太郎等ノ協

議セル前記方法ニ依リ婦女ヲ誘拐シテ上海ナル前示慰安所ニ移送センコトヲ諮リタルトコロ被告人春吉章二及原審相被告人虎壽市之助ハ孰レモ之ニ賛同シ因テ第一乃至第七ノ如ク順次山口キクエ以下十五名ノ婦女ヲ長崎ヨリ乗船セシメテ之ヲ誘拐シタル上孰レモ上海ニ上陸セシメ以テ同女等ヲ帝國外ニ移送シタルモノナリト判示シ刑法第二百二十六條第一、二項第五十五條第六十條等ヲ適用シテ有罪ノ言渡ヲ爲シタリ然レトモ右事實理由ニ依レハ上告人村上富雄ハ上海ニ在リテ判示ノ營業ヲ爲シ居リ日本國內ヨリ婦女ヲ雇入ルコトヲ協議シタルニ止マリ判示婦女ヲ判示ノ手續ニヨリ上海ニ送リタル一切ノ事項ニハ全然關與スル處ナキモノナリ即伊吉雪野ミキ其ノ他ノ者ニ於テ順次相謀議シ判示ノ如キ手段ニヨリテ判示婦女ヲ上海ニ赴カシメタル事實ニ付テハ全然其ノ實行ニ關與シタルモノニアラサルノミナラス其ノ之ニ關シテ全ク其ノ認識ヲ有セサルモノニシテ隨テ之ヲ其ノ共同正犯ナリト斷スルヲ得サルモノナリトス加之記録ヲ閱スルニ上告人ハ當局ノ認許ヲ受ケ上海ニ於テ來ク判示營業ヲ經營シ居リタルモノニ係リ同地ノ狀勢更ニ其ノ擴張ヲ要スルニ至レルヨリ判示伊吉等ニ其ノ協議ヲ爲シタルニ止マルモノニシテ其ノ際判示ノ如キ甘言ヲ以テ婦女ヲ誘拐センコトヲモ謀議シタルニアラス判示ノ如キ手段ヲ以テ判示婦女ヲ欺キタリトセハ并ハ現實長崎縣下ニ於テ婦女ノ雇入ニ從事セル者等ニ於テ

共同正犯ナリトシテ前不法條ヲ適用シテ有罪ノ言渡ヲ爲シタルハ事實ノ誤認アルコト顯著ナル事由アルモノニシテ此ノ點ニ於テ破毀ヲ免レサルモノト信スト云フニ在レトモ

【要旨第一】

所論ノ判示事實ハ原判決擧示ノ證據ニ徴シ之ヲ肯定スルニ足リ記録ヲ查スルモ原審ノ事實認定ニ重大ナル誤謬アルコトヲ疑フヘキ顯著ナル事由ナキノミナラス凡ソ國外誘拐罪ハ帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ誘拐スルニ依リテ成立シ又國外移送罪ハ被誘拐者ヲ帝國外ニ移送シタルトキニ於テ成立スルモノニシテ其ノ被誘拐者ノ何人ナルヤハ敢テ問フ所ニ非サルカ故ニ尙モ帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ誘拐シ其ノ被誘拐者ヲ帝國外ニ移送スルコトヲ謀議シタル以上之ニ參加シタル者ノ一部カ其ノ謀議ニ基キ被誘拐者ヲ物色シ之ヲ誘拐シテ國外ニ移送シ爾餘ノ者ハ其ノ實行行為ニ全然關與セサリシトキト雖其ノ實行行為ニ關與セサリシ者モ亦之ニ依リ自己ノ犯意ヲ實現セル結果トナルカ故ニ國外誘拐罪國外移送罪ノ共同正犯タル刑責ヲ負フヘキハ當然ノコトト云ハサルヘカラス尙テ本件ニ於テ被告人富雄カ相被告人等ト醜業ニ從事セシムヘキ婦女ヲ誘拐シテ上海ニ移送センコトヲ謀議シ其ノ結果相被告人等カ長崎地方ニ於テ山口キクエ外十數名ノ婦女ヲ誘拐シテ之ヲ上海ニ移送シタルコト原判決認定ノ如クナル以上縱令被告人富雄カ右犯罪ノ實行行為ニ全然關與セサリシトモ其ノ共同正犯トシテノ罪責ヲ免ルヘキニ非ラサルハ勿論ニシテ原審カ其ノ判示スルカ如キ擬律ニ依リ被告人等ヲ處斷シタルハ相當ナルヲ以テ論旨ハ理由ナキモノトス

同第三點原判決ハ上告人等ノ所爲ヲ以テ帝國外移送ノ目的ヲ以テ婦女ヲ誘拐シ且之ヲ帝國外ニ移送シタルモノナリトシテ刑法第二百二十六條ヲ適用處斷シタリ然レトモ當時上海ハ我帝國軍隊駐屯シ吾輩判權及警察權ノ及ビシ場所即吾主權ノ及ヘル場所ナルヲ以テ土地ソノモノハ中華民國ニ屬セルモノナラヘシト雖斯ル場所ニ人ヲ移送スルハ刑法第二百二十六條ニ所謂帝國外ニ移送ニルモノト謂フヘカラナリシモノト信ス果シテ然ラハ原判決ハ不當ニ法律ヲ適用シタル違法アルモノナリト云フニ在レトモ誘拐罪ニ付刑法第二百二十六條ニ特別規定ノ設ケラレタル理由ハ畢竟國情ヲ異ニシ歸還ノ容易ナラサ

【要旨第一】

ル他國ニ被誘拐者ヲ移送シ又ハ移送スルヲ目的トスルカ如キハ普通ノ誘拐行為ニ比シ情狀輕カラサルモノアルニ因ルコト勿論ニシテ其ノ他國ニ帝國軍隊ノ駐屯スルト否ト我裁判權警察權ノ行ハルルト否トハ問フ所ニアラサルカ故ニ被告人等カ支那領土タル上海ニ移送スル目的ヲ以テ婦女ヲ誘拐シタル上之ヲ同地ニ移送シタルコト原判決認定ノ如クナル以上前記法條ノ適用アルニキハ當然ニシテ原判決ニハ所論ノ如キ違法ナキヲ以テ論旨ハ理由ナシ

同第六點原判決ハ其ノ法律理由中「被告人等ノ所爲中誘拐ノ點ハ刑法第二百二十六條第一項第五十五條ニ被誘拐者帝國外移送ノ點ハ同法第二百二十六條第二項第一項第五十五條ニ各該當スルトコロ右ハ

手続結果ノ關係アルヲ以テ同法第二百二十六條第一項第五十五條ニ對シ犯罪成立ニ對シ被誘拐者帝國外移送罪ノ

刑ニ從ヒ云々處斷シ」ト說示シタリ然レトモ帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル者其ノ被誘拐者ヲ帝國外ニ移送シタル場合ニ於テ其ノ後段ノ所爲ハ其ノ前段ノ所爲ノ當然ノ結果トシテ別ニ他罪ヲ構成セサルモノナルコト夫ノ他人ノ物ヲ竊取シタル者カ其ノ目的物ヲ處分スルモ別ニ横領罪ヲ構成セス之ヲ他ニ運搬スルモ贓物罪ヲ構成セザルト異ナル處ナキモノナリトス然ルニ原判決前示ノ如ク刑法第二百二十六條第二項ヲモ適用處斷シタルハ違法ニシテ破毀ヲ免レサルモノト信スト云フニ在レトモ

刑法第二百二十六條第一項ノ國外誘拐罪ハ帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ誘拐スルニ依リテ成立シ必スシモ其ノ被誘拐者ヲ帝國外ニ移送スルコトヲ要スルモノニアラス又同條第二項ノ國外移送罪ハ單ニ同法第二百二十四條乃至第二百二十六條第一項ノ被誘拐者又ハ被害者ヲ帝國外ニ移送スルニ依リテ成立シ移送者自ラ人ヲ誘拐シ若ハ賣買スルコトヲ必要トセザルカ故ニ兩者ハ夫々構成要件ヲ異ニスル別個ノ犯罪ニシテ其ノ一方カ成立スルトキハ他方ハ當然之ニ包含又ハ吸收セラレテ別罪ヲ構成セザルモノト謂フコト能ハス從テ帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ誘拐シタル者カ其ノ被誘拐者ヲ帝國外ニ移送シタルトキハ其ノ行為中誘拐ノ點ハ前示第二百二十六條第一項ニ移送ノ點ハ同條第二項ニ各該當シ尙其ノ兩行為ノ間ニハ手段結果ノ關係アルヲ以テ同法第五十四條第一項後段第十條ヲ適用スヘキモノト解スヘク原審カ其ノ判示スルカ如キ擬律ニ依リ被告人ヲ處斷シタルハ相當ト認ムヘキカ故ニ論旨

【要旨第二】

ハ理由ナキモノトス(其ノ他ノ上告論旨及判決理由ハ之ヲ省略ス)

以上ノ理由ナルニ依リ刑事訴訟法第四百四十六條ニ則リ主文ノ如ク判決ス

檢事德江治之助關與

恐喝被告事件

職業ヲ背景トスル恐喝罪

刑法第二百四十九條

三月三日

(一十一年)第(三)四號

二一五

傷害公務執行妨害被告事件

巡查ノ職務權限

刑法第九十五條、行政警察規則(明治八年太政官達第一二九號)第一章第一條、同規則第一章第三條、同規則第三章第二條

三月三日

(一十一年)第(三)五號

二三一

縣會議員選舉罰則違反被告事件

投票買收ノ爲金員ノ交付ヲ受クテ之ヲ供與セル場合ノ罪數

衆議院議員選舉法第一百十二條第一項

三月五日

(一十一年)第(三)五號

二二六

大審院刑事判例集第十六卷第四號目次

事件	判示事項	參照法條	裁判月日	番號	丁數
詐欺被告事件	兌換券偽造ノ資金トシテ交付シタル金員ト之カ返還請求	刑事訴訟法第三百七十三條第一項、刑法第十九條、民法第七百八條	二月二十七日	(一十一年)第(三)八號	二四一
國外移送誘拐被告事件	誘拐罪ノ謀議ト共同正犯、上海ヘノ移送ト國外誘拐罪又ハ國外移送罪ノ成立、人ヲ誘拐シテ國外ニ移送セル場合ノ擬律	刑法第二百二十六條、同法第六十條、同法第五十四條第一項	三月五日	(一十一年)第(三)三號	二五四
縣會議員選舉罰則違反被告事件	推薦狀ノ表書ニ使用スル勞務者ト其ノ選任	衆議院議員選舉法第八十九條第一項、同法第三百三十一條、府縣制第三十九條、同法第四十條	三月五日	(一十一年)第(三)五號	二六二
衆議院議員選舉法違反被告事件	選舉情勢ノ報告ト選舉運動	衆議院議員選舉法第九十六條	三月五日	(一十一年)第(三)九號	二六七
殺人未遂被告事件	未遂犯ノ實例	刑法第四十三條、同法第九十九條、同法第二百三三條	三月六日	(一十一年)第(三)八號	二七二
衆議院議員選舉法違反被告事件	衆議院議員選舉法第一百十二條第五號後段ノ犯罪ノ成立ト目的意思ノ要否	衆議院議員選舉法第一百十二條第一項	三月八日	(一十一年)第(三)七號	二七八
詐欺被告事件	被告事件ノ要旨ノ陳述ト其ノ基ツク書類	刑事訴訟法第三百四十五條	三月八日	(一十一年)第(三)三號	二八四

目次